

観光社会資本の事例

テーマ	内外の守りの要、尼崎閘門「尼ロック」
【施設の状況写真】	
	
平成17年3月に完成した尼崎閘門	集中コントロールセンターが一切を監視
【施設の利用写真】	
	
親子見学会開催時の写真	
【観光資源としての利用状況】	
<p>平成17年3月26日に全体の事業が終了し、尼崎閘門・広域高潮対策施設完成式典を行っています。尼崎閘門周辺は運河沿いに散策ができる親水性の歩道が整備されており、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所が主催した親子みなと見学会、出前講座の現地見学会に利用されており、また兵庫県が主催した土木の日のイベント「ウォーキングラリー」の折り返し点等として利用されています。今後尼崎市民の憩いの場所及び散策場所として期待されます。</p>	

テーマ	内外の守りの要、尼崎閘門「尼ロック」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 尼崎閘門(通称:尼ロック)</p> <p>所在地 尼崎市西海岸町</p> <p>事業名 尼崎西宮芦屋港 閘門(改良)</p> <p>事業主体 近畿地方整備局(兵庫県受託)</p> <p>事業期間 昭和61年～平成16年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>地盤の低い尼崎市域は、防潮堤や水門で囲まれ、高潮からの浸水を防いでいます。これらの内陸側にある運河や河川に船舶の出入りが必要なため設けられたのが、全国でも珍しいパナマ運河方式の尼崎閘門です。前後の扉を交互に開閉することで、潮位の高い海水が運河内に流れることを防ぎながら船舶の航行ができます。昭和61年から閘門の改良が行われ、周辺整備とともに平成17年3月に完成しました。「リフレッシュポートあまがさき」事業の港のにぎわいゾーンとして整備が進められています。「阪神・淡路 百名所」に選定されています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 近畿地方整備局神戸港湾事務所 http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobeport/index.html 兵庫県 http://web.pref.hyogo.jp/kouwan/amanishi/amanishi.htm 尼崎市 http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/web/contents/profile/ama-tsushin/hakken/htm/prologue.htm</p>	